

1. 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ダッカ県（人口約 1,473 万人（国勢調査、2022 年））及びノルシンディ県（人口約 258 万人（同上））等
- (3) 案件名：保健システム強化計画（Health System Strengthening Project）
- (4) 計画の要約：

本計画は、非感染性疾患（Non- Communicable Diseases。以下「NCDs」という。）対策に資する医療施設及び関連機材の整備及び医療人材育成・確保等の支援により、保健システム強化を図り、同国のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（以下、「UHC」という。）推進に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

南アジア地域の安定と経済発展において重要な役割を果たしているバングラデシュは、我が国にとって伝統的な友好国であり、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」を実現する上で鍵となる戦略的パートナーでもある。我が国は、バングラデシュの独立以降一貫して、同国の持続的な経済的発展とその疎外要因となる社会脆弱性の克服の両面からの支援を継続している。

バングラデシュは、近年、順調な経済発展を続け、2026 年には後発開発途上国（Least Developed Country）からの卒業が見込まれている一方で、未だ保健・医療をはじめとする人間の安全保障分野では多くの課題を抱えている。我が国は対バングラデシュ国別開発協力方針（2018 年 2 月）において、NCDs 対策を中心とした公的保健サービスの質の改善、保健人材の育成や保健行政の能力強化を通じた包括的な保健システム強化を支援することとしている。また、長年に亘り UHC の推進に貢献してきた我が国は、FOIP のための新たなプラン（2023 年 3 月）でも国際保健を第二の柱「インド太平洋流の課題対処」の重点項目に位置付けるとともに、2023 年 9 月の国連総会 UHC ハイレベル会合においても、2030 年までの UHC 達成に向けて、国際社会の取組をさらにリードしていく旨、表明している。

本計画は、バングラデシュの脆弱な保健・医療体制への協力を通じ、同国と我が国との良好な二国間関係を発展・強化するのみならず、SDGs ゴール 3（すべての人々の健康と福祉）を促進する取組として、南アジア地域の安定的な発展、ひいては国際社会の平和と安定にも寄与することから、外交政策上、実施意義が高い。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

当該国では、食習慣や生活様式の変化等により、NCDs が増加しており、保健セクターにおける重要課題となっている。当該国における死亡者数は 2011 年から 2021 年にかけて脳卒中が 23.6%、心疾患が 24.6%と大幅に増加しており（Institute

for Health Matrix and Evaluation、2025 年)、NCDs の中でも、特にこれらの循環器系疾患への対策が特に求められている。当該国の保健セクターでは、2017 年に策定された「第 4 次保健・人口・栄養セクター開発プログラム」のもと、包括的な保健システムの強化、保健医療サービスの質の改善などが取り組まれてきた。なお、2024 年 8 月に発足した暫定政権下においても、この方針は変わらず継続されている。また、当該国では、1,000 人当たりの病床数が 0.9 床と世界平均の 3.3 床を大きく下回る (WHO、2019 年) など医療施設のキャパシティ不足に加え、公的医療機関では定員に対する欠員率が医師で 18%、看護師で 10%と高止まりしているなど、医療人材不足が課題である。本計画は、当該国の三次医療施設として循環器医療をリードする国立循環器病研究所 (National Institute of Cardiovascular Diseases。以下、「NICVD」という。) 及び地方の医療体制強化のため二次医療施設のノルシンディ・サダル病院 (Narsingdi Sadar Hospital。以下、「NSH」という。) の増改築及び医療機材供与を通じて NCDs 医療体制を強化する。また、必要に応じて借款の一部を成果連動型コンポーネントとすることも検討しつつ、公的医療機関における医師・看護師等の医療人材確保を後押しすることで、当該国における保健システムを強化するものである。実施中の技術協力「非感染性疾患対策強化プロジェクト」(2023 年～2028 年) では、NCDs サービスの提供体制の強化に取り組んでおり、対象地域にノルシンディ県が含まれている。本計画で NSH を整備することにより、同県における予防、検査、診断、治療を含む包括的な NCDs 対策の強化に貢献することが期待される。また、円借款「保健サービス強化計画」(2018 年～2026 年) において、一次及び二次医療施設の NCDs 検査体制を強化するための機材整備及び施設の増床等を行っているところであり、本計画で NICVD を整備することで、検査後の診断、治療を含む三次保健医療施設のキャパシティ強化を図る。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：

- ア) 医療インフラ整備：NICVD 及び NSH の NCDs 医療体制を強化するための機材整備及び施設の増床及び改築
- イ) 成果連動型借款：当該国の保健システム強化のため、医療人材育成・確保等を中心に JICA と当該国政府で成果指標 (以下、「DLI」という。) を設定し、DLI の達成状況に応じて貸付け実行が行われる。具体的な DLI は協力準備調査を通じて検討する。
- ウ) コンサルティング・サービス：詳細設計、入札補助、施工監理、施設運営・人材育成プログラムの実施等

② 期待される開発効果：

NICVD 病床数 (基準値：1250 床→目標値：1750 床) 及び NSH 病床数 (基準値：100 床→目標値：200 床) の増床により、医療アクセスの改善への貢献が期待される。

- ③ 借入人：バングラデシュ人民共和国政府（The Government of the People's Republic of Bangladesh）
 - ④ 計画実施機関／実施体制：保健家族福祉省（Ministry of Health and Family Welfare。以下、「MoHFW」という。）
 - ⑤ 他機関との連携・役割分担：成果連動型借款については保健セクターで成果連動型借款を検討中の世銀及び ADB とジョイント協調融資を想定。詳細は協力準備調査時に具体化する。
 - ⑥ 運営／維持管理体制：本計画の運営・維持管理は MoHFW が行う。
- (2) その他特記事項：本計画は、首都ダッカの三次医療施設及び地方の二次医療施設の整備に取り組むものであるが、医療機材の供与に当たっては本邦技術の優位性から日系医療メーカーから調達することを検討予定。
- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
 - ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
 -

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ベトナム「地方病院医療開発事業（Ⅱ）」の事後評価結果等から、医療機材の技術進歩は比較的早いため、機材選定時に特に専門性の高い機材に関しては、最新の仕様・機種を選定することが望ましいとの教訓を得ている。本計画では、NCDs 用医療機材の調達パッケージの詳細設計時に、特に専門性の高い機材に関して最新の使用・機種を選定するよう留意する。

以 上

[別添資料] 地図「保健システム強化計画」

地図「保健システム強化計画」



出典：「バングラデシュ人民共和国ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ促進事業情報
収集・確認調査ファイナル・レポート（2018年）」より JICA 作成